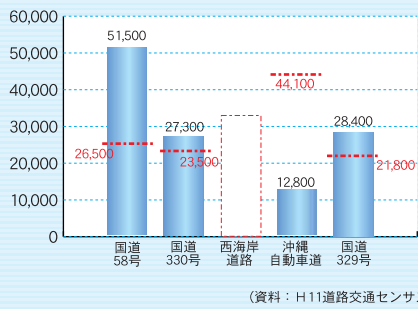


# 「ハシゴ」道路の構築を目指して

## 1. 沖縄の現状と課題

著しい那覇都市圏への交通集中  
沖縄県の総トリップの85%が  
那覇都市圏に集中しており、と  
くに西海岸に位置する都市から

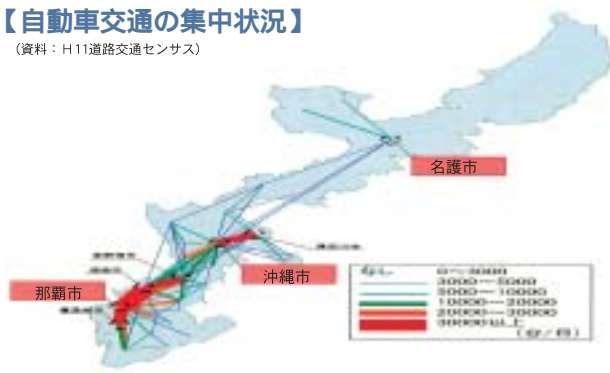
【那覇 - 西原断面における分担状況】



道路のアンバランスな使われ方  
沖縄県を南北に縦貫する幹線  
道路において、国道58号、国道  
329号、国道330号は交通  
容量を超過する交通を処理する  
のに対して、沖縄自動車道は交  
通容量に余裕があります。  
計画されている西海岸道路とあ  
わせて、南北幹線道路の容量拡  
大およびアンバランスな利用特  
性の是正が重要となります。

【自動車交通の集中状況】

(資料：H11道路交通センサス)



深刻な交通渋滞  
那覇都市圏の渋滞は著しく、  
沖縄県の渋滞損失時間の約6割  
が那覇都市圏で発生しています。  
道路整備等による抜本的な渋滞  
対策が必要です。

那覇市へのトリップが卓越して  
います。これらの交通集中は九  
州地区の他県の状況と比較して  
も著しいものとなっています。  
那覇市圏および南北方向の道路  
の強化が重要となります。

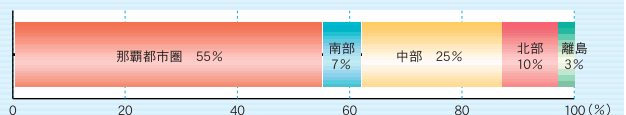
【H16渋滞損失時間の状況】



【利用が少ないIC】



【渋滞損失時間の地域構成】



(資料：沖縄総合事務局、H11道路交通センサス)

## 【完成時のハシゴ道路ネットワーク】



## 【ハシゴ道路4つの要】

### ①南北を走る 強固な 『3本の柱』

国道58号(西海岸道路を含む)、329号、沖縄自動車道

### ②柱を支える 『東西連絡道路』

基地跡地の活用

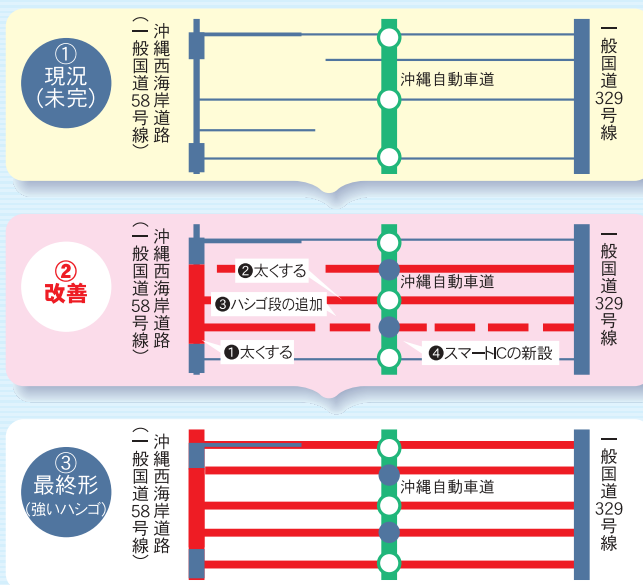
### ③高速を 使いやすくなる ICの増設

スマートICの整備

### ④モノレールと 高速バスの 連携

シームレスな乗り換えを可能とする

## ハシゴ構造の強化のイメージ

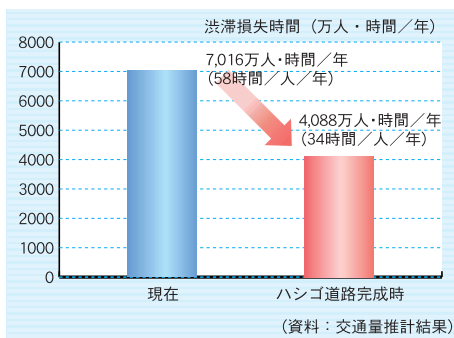


沖縄における交通問題を解消するために『ハシゴ道路』の整備を推進します。

## 2. 『ハシゴ道路』の整備計画

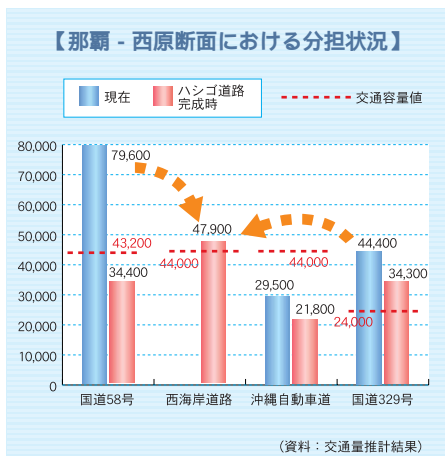


各地から那覇空港までのアクセス時間の短縮  
空港へ30分で到着できる人口が59万人から97万に増加



渋滞状況の改善  
渋滞損失時間が58時間から34時間に減少

## 3. 『ハシゴ道路』に期待される効果



アンバランスな使われ方の解消  
はしご道路の整備により、国道58号に集中していた南北方向の交通需要が分散されます。



高速道路のICまでのアクセス時間短縮  
高速道路のICへ10分で到着できる人口が54万人から93万に増加